



注記：本ファイルは、提供された英語作業版をもとにした日本語作業翻訳・再構成版です。正式版は原文資料を優先してくだ  
さい。

## 目次

- 1. ESG 委員会委員長メッセージ
- 2. 本報告書について
- 3. Everbiz Industrial について
- 4. ステークホルダー・エンゲージメントと重要課題分析
- 5. 2022 年 ESG パフォーマンスハイライト
- 6. 第 1 章 革新的サービス
- 7. 第 2 章 ガバナンスの深化
- 8. 第 3 章 気候アクション
- 9. 第 4 章 人材育成と安全な職場
- 10. 第 5 章 地域ケアと共栄
- 11. 連絡先

## 1. ESG 委員会委員長メッセージ

 www.everbiz.com.tw 2022年版 年次報告書	ESG委員会委員長メッセージ Everbizについて	ESG推進委員会委員長メッセージ ステークホルダーの特定と 重要課題分析	本報告書について ESGパフォーマンス ハイライト
---	-------------------------------	--	---------------------------------

### Everbizについて



**Tiantian Chen**  
董事長

**Antoine Chen**  
總經理

Everbizは「人を中心とする」企業文化を堅持し、従業員を最も重要な資産と考えています。健全な経営管理、継続的なイノベーションと研究開発、デジタルトランスフォーメーション、そして企業の社会的責任に注力し、4つの重点分野を通じて持続可能な経営を長期的に推進しています。ワイヤーハーネス組立品の加工、研究開発、生産に加え、システム統合および包括的なシステムコンポーネント製造を強化しています。設計能力を継続的に高め、製品品質方針を明確化し、研究開発とイノベーションの精神を育むことで、資源の有効活用、汚染の低減、そして地球環境の保護を目指しています。



**環境保護の基本方針**

当社は持続可能な発展の理念に基づき、日常業務における環境保護の成果を継続的に向上させています。省エネルギー、廃棄物管理、温室効果ガス排出の削減などを通じて、地球環境を守り、企業価値の向上を目指します。



**多様な職場と安全の確保**

Everbizは人を重視する企業文化を大切に、従業員を重要な資産と考えています。安全な労働環境を提供し、包括的な労働安全衛生管理体制を整備し、良好な労使関係を築くとともに、誰もが学び、成長し、価値ある一員として認められる働きやすい職場づくりを推進しています。

Everbizについて 06

### ESG ステアリング委員会委員長メッセージ

ESG ステアリング委員会は、Everbiz Industrial の ESG に関する意思決定の中心であり、総経理を委員長として、ESG ビジョンと長期戦略を策定しています。極端な気候事象、地政学的衝突、COVID-19 の長期的影響に対応するため、当社は積極的な行動、革新的設計、柔軟な適応、そしてステークホルダー価値の創出を重視しています。

2022 年レポートは、Everbiz がサステナビリティ実績を自主的に管理・開示した初年度です。当社は年間売上高 5.9 億台湾ドル、利益 5,000 万台湾ドルを計上しました。収益性は 15.52% 成長し、過去 10 年で最高水準となり、自己資本利益率 (ROE) は約 8.8% 改善する見込みとされています。

ガバナンス面では、当社は国家政策に歩調を合わせ、事業発展を強化し、国家磐石賞および国家品質賞などの評価を受けました。社会面では、従業員福利の向上、安全で健康的な職場づくり、地域活動への参加を継続しています。環境面では、2021 年より節電、廃棄物削減、炭素削減を含む段階的な自主管理計画を開始しました。

電子部品産業は、スマートライフ、高齢化、新しい電子製品需要が将来を形づくの中で、低炭素転換に重要な役割を果たします。Everbiz は、ESG 自主管理と革新への投資を継続し、バリューチェーンのパートナーとともに、事業成果と持続可能な発展の両立を図りながら、グローバル市民としての責任を果たしていきます。

署名：Chen Yong-Rui、総経理兼 ESG ステアリング委員会委員長

### ESG 推進委員会委員長メッセージ

ESG 委員会は、注目すべきサステナビリティ課題を特定し、対応策を策定し、部門横断でコミュニケーションとリソースを調整します。また、実績を追跡し、継続改善計画を整備し、実施結果および将来計画を取締役に報告します。

当社は、温室効果およびパンデミック影響への優先的な対応として、デジタル革新を重視しています。方向性には、AI、ビッグデータ、AIoT、AR/MR コミュニケーション、オンライン 3D 図面、サプライチェーンにおけるクラウド協働、ロボットによる資材搬送などが含まれます。これらにより、歩留まりと製品多様性を高め、材料・労務のムダを減らし、移動や対面接触を低減し、労働安全を改善し、スマート製造およびインダストリー4.0 へ進むことを目指します。

第一段階の革新改革計画を通じて、自動車用ハーネスの電力単位あたり平均生産量は 1,901,779 セットから 2,603,330 セットへ増加し、36.8%の生産能力改善を達成しました。従来生産と比較して、2022 年には全体で約 12.55%の節電を実現しました。これは、革新ガバナンスがエネルギー効率を改善し、気候変動影響を緩和できることを示しています。

## 2. 本報告書について

2022 年サステナビリティレポートは、Everbiz Industrial Co., Ltd.が発行した初のサステナビリティレポートです。誠実性、透明性、共栄の原則に基づき、2022 年における経済・環境・社会面のサステナビリティ状況をステークホルダーに示すものです。

項目	日本語内容
報告範囲	Everbiz Industrial の台湾工場。主に新北市汐止区にある 2 つの製造拠点を対象とします。
報告期間	2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日まで。主要な開示事項はこの期間に整合しています。
財務範囲	2022 年総売上高は 5.9 億台湾ドルで、前年比 15.52%以上の成長を示しました。
参照基準	GRI Standards 2016、SASB Standards、TCFD 提言を参照。
財務データ出典	天下会計事務所により認証された財務年次報告データ。
GHG データ出典	ISO 14064-1:2018 に基づき作成され、DNV Business Assurance Taiwan Ltd.により検証された温室効果ガス排出・削減データ。
社内プロセス	各責任部署の管理者が内容を確認し、サステナビリティオフィスが集約、ESG ステアリング委員会が審査・承認した後、広報・マーケティング部門により発行。

報告書に関する連絡先：Everbiz Industrial Co., Ltd. サステナブル発展・リスク管理オフィス、+886-2-26472981 ext. 162、sustainable@everbiz.com.tw。

## 2. Everbiz Industrial について



2022年版 年次報告書

ESG委員会  
委員長メッセージ

Everbizについて

ESG推進委員会  
委員長メッセージ

ステークホルダーの特定と  
重要課題分析

本報告書について

ESGパフォーマンス  
ハイライト

---

### Everbizについて

設立年

1990年

資本金

NT\$6,000万

事業カテゴリ



**H-3 その他の電子部品関連産業**

- ✓ 各種電子ワイヤー、コネクタおよび端子の製造・販売
- ✓ コネクタ製品の関連設備の取引および輸出入、国内外の代理見積・販売
- ✓ 各種ワイヤーハーネスおよびケーブル製品の国内外メーカーからの仕入・販売
- ✓ 関連する前端取引業務の輸出入および販売

会社規模



**規模および情報**

- ✓ 工場拠点：4か所
- ✓ 従業員数：約 210名
- ✓ 公式ウェブサイト：<https://www.everbiz.com.tw/>


Everbizについて 05

出典ページ：会社概要。

プロフィール項目	内容
設立	1990年
払込資本	6,000万台湾ドル
産業分類	H-3 その他電子部品関連産業
事業項目	電子ワイヤ、コネクタ、端子の製造・販売、関連設備取引および輸出入、国内外代理見積・販売、関連事業および再投資。
規模	4工場、従業員約210名。
ウェブサイト	<a href="https://www.everbiz.com.tw/">https://www.everbiz.com.tw/</a>

Everbiz Industrial は、人を中心に据えた企業であり、従業員を最も重要な資産と考えています。経営改善、革新的 R&D、デジタルトランスフォーメーション、社会的責任の 4 つの側面を通じて持続的な事業運営を進展させています。

当社はワイヤアセンブリの加工、研究開発、生産を専門とし、体系的・制度的な管理に支えられています。携帯端末から自動車、オートバイ、船舶、機械用途まで、幅広い製品に対して、専門的な設計コンサルティングと包括的なワイヤソリューションを提供しています。

 2022年版 年次報告書	ESG委員会 委員長メッセージ  Everbizについて	ESG推進委員会 委員長メッセージ  ステークホルダーの特定と 重要課題分析	本報告書について  ESGパフォーマンス ハイライト
---	---------------------------------------	--	-------------------------------------

## Everbizについて

- 誠実性**  
 誠実性はEverbizにとって最も重要な中核的価値です。  
 誠実さ、透明性、公平性に基づく長期的なパートナーシップを構築し、すべてのステークホルダーに相互の信頼と価値を創造します。
- 責任と約束**  
 私たちは、お客様、サプライヤー、従業員、投資家、およびすべてのステークホルダーに対して責任を持ち、強い責任感をもって約束を果たし続けます。
- 革新**  
 継続的な革新こそが、Everbizの成長の原動力です。  
 プロセス、設備、運用、管理、技術、製造の各面において、革新的な思考と設計を推進し、社内外の協働を強化しながら、継続的に改善し、前進し続けます。
- 顧客からの信頼**  
 私たちの成功は、お客様からの信頼に基づいています。  
 お客様の成功が、Everbizの成功でもあります。お客様のニーズを深く理解し、信頼される長期的な戦略的パートナーを目指します。
- 迅速性**  
 スピードは、新しい時代における私たちの競争力です。  
 生産、設計、技術、情報、意思決定において俊敏性を高め、市場の変化に迅速に対応し、機会をつかみ、より大きな価値を創造します。
- リーダーシップ**  
 私たちは、リーダーシップにおいて公平、公正、理性、誠実さを体現します。  
 模範となって責任を果たし、前向きな企業文化を推進し、共に持続可能な発展を目指します。

Everbizについて 07

### 環境保護原則

Everbiz は、企業成長と生態系保護が共存すべきであると考えています。環境意識を日常業務に組み込み、気候変動、エネルギー管理、廃棄物管理における継続的な取り組みを通じて、環境を保護し企業価値を高めます。

### 多様で安全な職場

当社は、従業員との双方向のコミットメントを重視しています。管理システムを通じて、国内外の労働安全衛生および人権要件に適合した職場環境を構築し、仕事が挑戦的でありながら継続的学習を支えるものとなるよう努めています。

## コアバリュー

- 誠実性と正直さ：知的財産権を尊重し、客観的・誠実・公正にパートナーを選定します。
- 責任と約束：顧客、サプライヤー、従業員、株主、社会、すべてのステークホルダーの権利と利益を守ります。
- 革新：戦略、マーケティング、管理、技術、製造の全領域で改善を追求します。
- 顧客からの信頼：顧客の競争力と成功を Everbiz 自身の成功と捉えます。
- タイミングと柔軟性：インダストリー4.0 時代において、生産力、設計、技術、情報、サービス能力を統合します。
- リーダーシップ：公正・合理・科学的・前向きなリーダーシップにより従業員を導き、会社の使命とビジョンを実現します。

## 技術能力とシステム

Everbiz は、コンピュータ、産業用コンピュータ、自動車・オートバイ、機械、軍事、航空宇宙、医療、計測機器向けの電子電源配線を専門としています。耐温湿度、耐屈曲、防水、金相、RoHS などの試験能力を維持しています。組織には営業、IT、エンジニアリング、生産、財務、人事、品質保証、資材部門が含まれます。ERP および ESP システムに加え、生産追跡、顧客クレーム、スマートスケジューリングの自社システムを開発し、工程情報の監視・アクセス、生産効率の改善、顧客満足度の向上に取り組んでいます。

 2022年版 年次報告書	ESG委員会 委員長メッセージ  Everbizについて	ESG推進委員会 委員長メッセージ  ステークホルダーの特定と 重要課題分析	本報告書について  ESGパフォーマンス ハイライト
<h3>生産および環境に関する認証</h3>			
			
<h4>ISO 9001</h4>	<h4>ISO 14001</h4>	<h4>ISO 50001</h4>	<h4>ISO 27001</h4>
国際標準化機構 (ISO) が定めた品質マネジメントシステム規格です。製品およびサービスの品質を一貫して維持・向上させる組織の能力を証明します。	環境マネジメントシステムの国際規格です。組織が環境パフォーマンスを向上させ、環境汚染を防止し、資源やエネルギーの効率的な利用を促進することを支援します。	エネルギーマネジメントシステムの国際規格です。組織のエネルギー利用の効率を向上させ、エネルギーコストの削減を支援します。	情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格です。組織が情報セキュリティリスクを適切に管理・低減し、情報資産の機密性・完全性・可用性を確保する能力を証明します。
Evertop Industrialについて 10			

## 認証と表彰

認証／標準	目的
ISO 9001	安定した製品品質を維持する品質マネジメント認証。
ISO 14001	汚染防止と資源・エネルギーの効率的利用を目的とする環境マネジメントシステム。
ISO 50001	エネルギー効率を改善し、エネルギーコストを削減するエネルギーマネジメント標準。
ISO 27001	情報セキュリティ脅威に対するリスク管理を強化する情報セキュリティマネジメント標準。
IATF 16949:2016	自動車業界向け技術仕様。設計・新製品開発、製造、据付、サービスを対象とし、欠陥予防とばらつき・ムダの削減を重視。
IPC J-STD-001 CIT	はんだ付け工程検証のための世界的な電子製造標準。
IPC A-610 CIS	プリント基板実装品の受入基準。
ISO 14064-1	組織の温室効果ガス算定・報告標準。炭素開示を支援。

レポートに記載された表彰には、Manager Today「Top 100 MVP Managers」、Harvard Business Review「Digital Transformation Award」、経済部「国家磐石賞」、新北市「企業経典賞・潜力企業」、TTQS 銅賞などが含まれます。

### 3. ステークホルダー・エンゲージメントと重要課題分析



2022年版 年次報告書

ESG委員会  
委員長メッセージ

Everbizについて

ESG推進委員会  
委員長メッセージ

ステークホルダーの特定と  
重要課題分析

本報告書について

ESGパフォーマンス  
ハイライト

## 1. ステークホルダーの定義と特定

- 2022年版 Evertop Industrial サステナビリティレポートは、さまざまなエンゲージメントチャネルを通じて、ESG課題に関わるステークホルダーを特定し、コミュニケーションを行っています。コミュニケーションプロセスで収集した情報に基づき、情報管理の戦略、対応、目標を策定し、ステークホルダーの関心に効果的に対応します。
- AA1000ステークホルダー・エンゲージメント基準（AA1000 SES）の5つの原則に従い、7つの主要なステークホルダーグループを特定しました。



**EVERTOP INDUSTRIAL**

従業員は当社の持続的発展の基盤です。働きやすい職場環境および多様な福利厚生を提供し、人材の確保と育成を強化し、パフォーマンスの向上を図ります。

株主・投資家は当社の成長と発展のための重要な支援者です。良好なコーポレートガバナンスを通じて経営パフォーマンスと収益性を高め、持続可能なステークホルダー価値を創造します。

私たちは、各種チャネルを通じて企業の財務・非財務情報を透明性をもって開示し、ステークホルダーが会社の状況を正しく理解できるよう努めます。

政府の法令規制を遵守することは企業運営の基本です。法令を順守するとともに、社会的責任を果たし、企業の持続的成長に努めます。

お客様は当社の事業成功の鍵です。高品質の製品と総合的なサービスを提供し、長期的かつ相互に有益な信頼関係を築きます。

メディア

株主・投資家

政府機関

お客様

地域社会・NGO

サプライヤー

従業員

依存関係  
責任  
緊張関係  
影響力  
多様な視点

地域社会とNGOは当社にとって重要な関係者です。良好な対話と協力を維持し、社会に積極的な影響をもたらします。

サプライヤーはサプライチェーンにおける重要なパートナーです。持続可能な管理を推進し、協力して環境への良い影響を生み出します。

ステークホルダーの特定と重要課題分析 14

サステナビリティレポートは、Everbiz がステークホルダーと ESG コミュニケーションを行うための重要なチャネルの一つです。通常のステークホルダーコミュニケーションに加え、レポート作成プロセスでは、報告範囲と内容を定義し、主要なサステナビリティ課題に関する管理方針と実績を伝えるために、重要課題の特定を行います。

当社の事業特性と AA1000 SES の 5 原則（依存性、責任、緊張、影響力、多様な視点）を用いて、Everbiz は 7 つの重要なステークホルダーグループを特定しました：従業員、株主、メディア、顧客、サプライヤー、政府機関、地域社会／非営利団体です。

ステークホルダー	Everbiz にとっての重要性
従業員	従業員は持続可能な発展の基盤です。当社は競争力ある報酬、福利厚生、多様な学習機会を提供します。
株主	株主は資本を提供します。Everbiz は事業情報と実績を開示し、支持を得て投資価値を創出します。
メディア	メディアは会社とステークホルダーを結ぶコミュニケーションの橋渡し役です。

顧客	顧客は主な収益源です。Everbiz は包括的なサービスを提供し、共に成長します。
サプライヤー	サプライヤーは経済・社会・環境の各側面における持続可能な発展の重要なパートナーです。
政府機関	政府はコンプライアンスと持続可能な発展に関する規制を定めます。
地域社会／非営利団体	地域社会と NGO は多様なサステナビリティ視点を提供し、共同の社会的インパクトを可能にします。

## 重要課題の特定プロセス

- GRI Standards、業界固有課題、国内外の ESG 評価関心事項、SASB 業界標準に基づいて課題を収集します。
- ESG 推進委員会メンバーによる分析を通じて課題を統合します。
- 外部ステークホルダーへの調査またはインタビューにより、関心度を把握します。
- 社内の ESG 管理代表者によって影響度評価を実施します。
- 国際 ESG 評価の優先事項および会社のサステナビリティ戦略を参照し、結果を討議・確認します。
- 重要課題を GRI Standards と結び付け、管理方針、中長期目標、指標を定義します。

## 重要課題

ESG 側面	重要課題
環境サステナビリティ	気候戦略と行動、エネルギー管理。
社会参加	人材の獲得と定着、人材資本開発、労働安全衛生、従業員の多様性と包摂、社会貢献と参加。
ガバナンスと経済	法令遵守、顧客サービス品質、情報セキュリティとプライバシー保護、イノベーション管理と知的財産保護、誠実な経営。
副次的課題	人権保護、製品責任とライフサイクル評価、調達とサプライヤー管理、リスク管理、廃棄物と資源再利用。

## 5. 2022 年 ESG パフォーマンスハイライト

ESG 柱	2022 年実績
環境投資	追加で 48.45 MWh の節電を達成し、CO2 排出量を 24.66 トン削減。
社会的ケア - TTQS 人材育成	2022 年以降、125 名の優秀人材を採用し、77 名以上が研修を受講。研修比率は 61.6%超。

社会的ケア - 管理職育成	2022 年以降、7 名の優秀人材を採用し、7 名以上が研修を完了。100%超の達成。
地域ケア	産官学資源を組み合わせ、児童教育と成人再教育を促進する地域ケア活動を 9 件実施。
ガバナンスと事業運営	年間利益／売上実績は 5.9 億台湾ドル、連結売上は 15.52%成長、ROE は約 8.8%改善見込み。
自動車生産	2022 年出荷量は自動車用ハーネス 260 万セットに達し、前年比 15.81%成長。
サプライヤー行動	従業員のビジネス倫理条項およびサプライヤー行動規範の 2 つの取り組みを開始。

## 6. 第 1 章 革新的サービス

Everbiz は顧客ニーズを優先し、市場動向に適合した専門的なワイヤ製造・設計ソリューションを提供し続けています。革新的技術とスマート製造を通じて中核競争力を強化し、サプライヤーと顧客を共有の運営チームとして結び付けます。製品の環境影響を低減し、人間生活と自然環境に持続可能な価値を創出することに取り組んでいます。

### 2022 年章別ハイライト

- 専門的な設計サービスを顧客に提供し、顧客基盤の一定割合を占めました。
- 製品リコール件数：0 件。
- 顧客満足度は高水準を維持しました。

#### 1.1 革新的クラウドプラットフォームとパートナーコミットメント

Everbiz は革新的思考を用いてクラウドプラットフォームを構築しています。ネットワーク技術を通じて、顧客およびサプライヤーと協力し、グローバルな気候リスクと長期リスク計画に対応します。

当社はスマート工程・モニタリング統合に投資し、異なるワイヤアSEMBリに対する高容量・低エネルギーの製造および品質管理設計を研究し、電気自動車需要に対応する多様な自動車用ハーネスを開発しています。

スマート工程・モニタリング統合ソリューションは、革新改革の第一歩であり、AIoT ビッグデータ収集・分析の基盤と説明されています。これはプラットフォーム開発、設計・受注コミュニケーション、社内工程効率の改善、製品品質管理、納期精度向上、再作業削減、人材・資材管理を支援します。

クラウドプラットフォームのロードマップは、顧客・サプライヤーとのコミュニケーション、クラウドベースの図面・設計、需給マッチング、移動由来の炭素排出低減、データ統合分析、BOM 計算、共同購買、倉庫・物流共有、資源協働を支援します。レポートでは、2030 年までにサプライチェーンで 45%の炭素削減と 15%の節電を目標としています。

## 1.2 先見性とスマート製造の展開

スマートフォン、ウェアラブル電子機器、VR/AR、自動運転、電気自動車、AI、ディープラーニング、音声制御、IoT ビジネスモデルが急速に変化する中、従来型電子産業は多様化、知能化、軽量設計、高速化、省エネルギー、統合型低炭素ソリューションへ移行しています。

Everbiz は将来の市場および環境動向を予測し、競争力ある中核製品を提供するため、工程革新と製品開発モジュールを準備しています。2021 年以降、インダストリー4.0 強化の優先事項を見直し、中長期的なスマート製造方向を計画しました。

2022 年には社内製造工程の調整を開始し、スマート変革専任組織としてサステナブル・イノベーションチームを設置しました。この戦略は OT と IT リソースを統合し、デジタル基盤、分野横断協力、産業 AI、スマート製造アプリケーション、業務・製造プロセス最適化、革新的工程管理、モジュール型生産工学、AI 統合変革を対象とします。

## 1.3 顧客ニーズと製品責任

管理目的は、顧客ニーズと市場動向に合致するワイヤ製造・設計ソリューションを提供し、継続的革新を通じて競争力を強化し、売上を増加させ、企業イメージを高めることです。

管理方針は、スマート工程、技術開発、独自 R&D、固有技術の保護、持続可能製品比率の段階的増加に重点を置いています。Everbiz は持続可能な技術・製品開発計画を策定し、サステナブル・イノベーションチームを通じて毎年実施実績を確認します。年間 R&D スケジュール KPI を設定し、R&D テーマとソリューションを定期的にレビューします。

## 7. 第 2 章 ガバナンスの深化

---

Everbiz のガバナンス業務は、サステナブル・ガバナンスの考え方、サステナビリティ戦略、革新改善、事業実績、法令遵守、リスク管理、情報セキュリティ管理を対象とします。当社は、長期的競争力の基盤として、誠実性、説明責任、体系的な運営、管理改善を重視しています。

### 2.1 サステナブル・ガバナンスの考え方

当社はサステナブル・ガバナンスを中核的な経営規律として位置づけています。組織構造、意思決定プロセス、社内システムを強化し、ESG 実施を支えます。ガバナンスは、誠実性、責任と約束、革新、顧客信頼、タイミング、リーダーシップという企業文化と結び付いています。

### 2.2 サステナビリティ戦略ブループリント

Everbiz のサステナビリティ戦略は、事業運営と環境保護、人材育成、社会参加、ガバナンス有効性を結び付けています。この戦略は、革新、デジタルトランスフォーメーション、スマート製造、エネルギー効率、炭素削減、人権保護、サプライヤー協働、地域社会参画を重視します。

### 2.3 革新改善とガバナンス評価

レポートでは、管理品質、デジタル変革、人材育成に関する国家・業界の評価を強調しています。これらは、ガバナンス、革新、管理システムが強化されつつある証拠として示されています。

## 2.4 事業実績

2022年、Everbizは年間売上高5.9億台湾ドル、利益5,000万台湾ドル、収益性成長15.52%、ROE約8.8%改善見込みを開示しました。自動車用ハーネス出荷量は260万セットに達し、前年比15.81%増加しました。

## 2.5 法令遵守

法令遵守は重要なガバナンス課題です。当社は各部門に法務相談と支援を提供し、関連するコンプライアンス教育を実施して、従業員の法的意識を高め、リスクを低減します。

## 2.6 リスク管理

リスク管理は副次的ながら重要なガバナンス課題です。当社は主要な企業レベルのリスクを体系的に管理し、事業継続性を強化し、重要リスクを特定・対応し、リスク特性に応じて必要な訓練と調整を行います。

## 2.7 情報セキュリティ管理

情報セキュリティとプライバシー保護は重要課題です。Everbizは従業員の情報セキュリティ意識を高め、規制および顧客要件に適合する情報セキュリティプロセスと保護構造を構築します。安全な生産空間とデータ管理環境を提供し、プライバシーデータを保護し、会社、ベンダー、顧客へのリスクを防ぐことを目標としています。

ガバナンス重要課題	管理の重点
法令遵守	法務相談、コンプライアンス教育、従業員の法的意識。
顧客サービス品質	Everbizと顧客双方の競争力を高める良質な製品・サービス。
情報セキュリティとプライバシー	安全な生産・データ管理、プライバシー保護、リスク予防。
革新と知的財産保護	市場・顧客ニーズを満たす革新的思考、設計、中核競争力。
誠実な経営	違法行為や不適切な利益移転を避けるためのビジネス倫理と道徳基準。

## 8. 第3章 気候アクション

本レポートにおける環境サステナビリティは、気候戦略と行動、エネルギー管理、温室効果ガス排出、節電、資源管理に焦点を当てています。Everbizは、規律ある削減・適応戦略が気候変動による直接・間接リスクを低減すると述べています。優れたエネルギー管理は、事業実績を改善し、環境負荷を軽減し、カーボンフットプリントを低減します。

### 3.1 省エネルギー・炭素削減の使命と戦略

当社の気候戦略は、気候変動リスク、国際ESG動向、エネルギー転換圧力に対応することを目的としています。温室効果ガス排出量と節電結果を開示し、エネルギーマネジメントシステムを用い、革新を通じて生産効率を改善します。

### 3.2 炭素削減管理

温室効果ガス排出・削減データは ISO 14064-1:2018 に基づき作成され、DNV により検証されています。当社の炭素削減管理は、工場運営、節電、工程最適化、クラウドエネルギーモニタリング、低炭素サプライチェーン協働を結び付けています。

### 3.3 エネルギー管理

エネルギー管理は重要な環境課題です。レポートでは、低炭素エネルギー利用が将来の潮流であり、電力制限は生産に直接影響し得ると述べています。そのため、有効なエネルギー管理は運営コストと事業リスクを低減します。

2022 年、当社は 48.45 MWh の追加節電と 24.66 トンの CO2 削減を達成しました。革新改革を通じて、従来生産と比較し 12.55%の節電効果も達成しました。

### 3.4 気候リスクと機会

潜在的リスクには、物理的気候リスク、移行リスク、電力制限、運営コスト上昇、規制圧力が含まれます。機会には、エネルギー効率改善、低炭素製品、スマート製造、クラウド協働、顧客信頼、サプライチェーン競争力強化が含まれます。

気候関連項目	日本語解釈
物理的リスク	極端な天候や気候事象が、事業運営とサプライチェーンに影響する可能性があります。
移行リスク	炭素規制、エネルギー転換、顧客要求により、コンプライアンスまたは運営コストが増加する可能性があります。
機会	スマート製造、エネルギー効率、低炭素製品は、顧客ニーズと事業成長を支援できます。
2022 年結果	48.45 MWh の節電、24.66 tCO2 の削減、自動車生産効率の改善。

## 9. 第 4 章 人材育成と安全な職場

社会面のサステナビリティでは、人材開発、人事管理、人材育成プログラム、職場安全を扱っています。Everbiz は、人材の獲得と定着、人材資本開発、従業員安全衛生、多様性と包摂を重要課題として特定しています。

### 4.1 人材開発

Everbiz は従業員を持続可能な発展の基盤と考えています。優秀な人材を引き付け、定着させ、全体的な運営実績を高め、競争力ある報酬・福利厚生を提供し、従業員が専門性を伸ばせる多様な学習環境を創出します。

### 4.2 人事管理

当社は、従来の個人依存型管理を標準化された枠組みに置き換えるため、管理システムを設計しています。これにより従業員は管理構造を理解しやすくなり、会社の将来拡大に備えることができます。

### 4.3 人材育成プログラム

Everbiz は定期的な教育訓練を通じて従業員の業務パフォーマンスを改善しています。レポートでは、TTQS 人材育成活動、管理職人材育成、産官学資源との協働も開示しています。2022 年以降、TTQS プログラムでは 125 名を採用し 77 名以上を研修、管理職育成プログラムでは 7 名を採用し 7 名以上が研修を完了しました。

### 4.4 職場安全保護

労働安全衛生は管理責任として説明されています。労働安全衛生リスクは従業員の心身の健康に影響し、会社に重大な経済的・社会的損失をもたらす可能性があります。Everbiz は、安全で健康的かつ法令に適合した職場を提供することを目指します。

### 多様性と包摂

当社は、採用、任用、育成、定着において平等な発展機会を提供します。性別、人種、宗教、政治的立場、婚姻状況その他の条件による差別を行わないとしています。調和の取れた包摂的な運営チームと、相互利益のある労使関係を目標とします。

社会重要課題	管理の重点
人材の獲得と定着	優秀な従業員を引き付け、定着させ、運営実績を高めます。
人材資本開発	研修、パフォーマンス指導、管理フレームワークにより将来拡大に備えます。
労働安全衛生	生命、健康、安全な労働条件を保護します。
多様性と包摂	平等な機会と非差別。
社会貢献と参加	地域教育と地域発展。

## 10. 第 5 章 地域ケアと共栄

Everbiz の地域活動は、教育、地域ケア、バリューチェーン参加、共栄を重視しています。2021 年以降、当社は川上・川下企業、近隣リーダー、学校と協力し、台北大都市圏の遠隔地域における教育を促進してきました。目標は、知識、経済能力、生活能力、就業能力の向上に関連しています。

**5.1 地域教育とケアの強化：当社は長期的に活動資金を支援し、従業員にボランティアまたは教師としての参加を促し、地域学校資源を結び付けて遠隔地域の就学状況改善を支援します。レポートは、単に魚を与えるだけでなく、魚の釣り方を教えるという概念を強調しています。知識向上と成人再教育を通じて、住民は能力と自己改善への意欲を高めることができます。**

この活動は、国連持続可能な開発目標（SDGs）のうち、SDG 1「貧困をなくそう」、SDG 4「質の高い教育をみんなに」、SDG 8「働きがいも経済成長も」、SDG 10「人や国の不平等をなくそう」、SDG 11「住み続けられるまちづくりを」に整合しています。

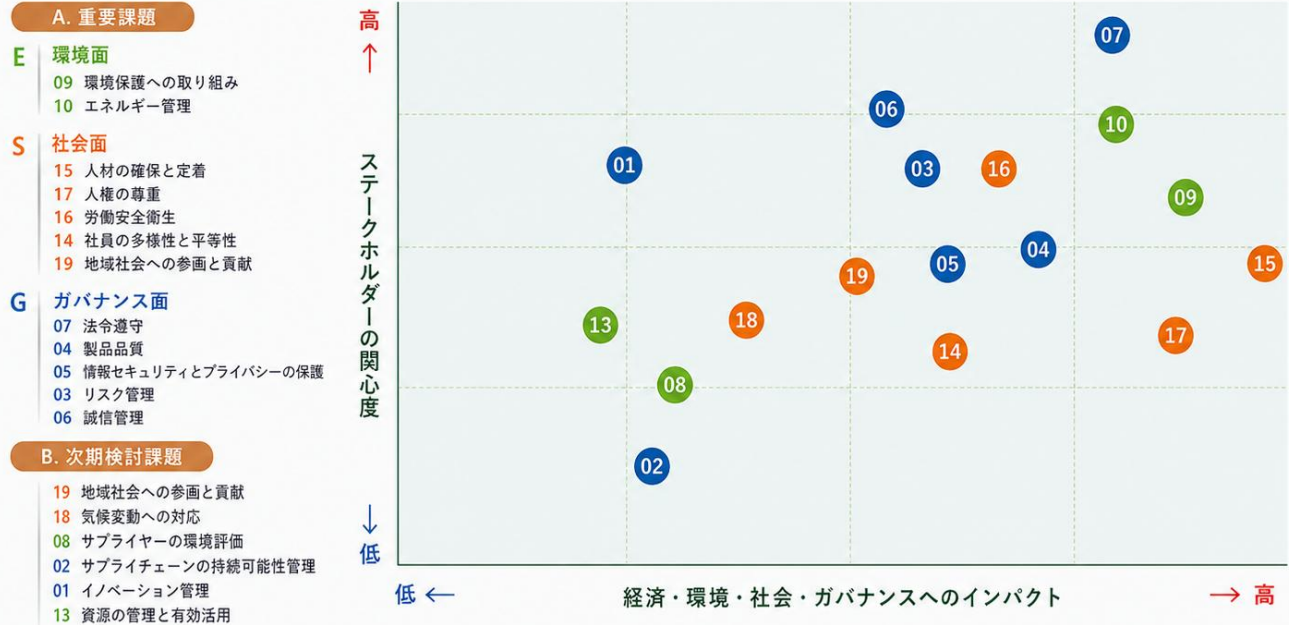
5.2 バリューチェーンパートナーによる共栄推進：地域ケアの影響を拡大・継続するため、Everbiz は同業他社および川上・川下パートナーの参加を呼びかけています。より多くの企業資源を結び付けることで、影響の深さと広がりを高め、より多くの遠隔地域が活動にアクセスできるようにし、教育プログラムを完了した住民がより多くの就業選択肢を得られるよう支援します。

レポートによると、北台湾の 6 校と 3 社が参加し、9 件の講座または活動が実施され、延べ約 150 人が教育活動を完了しました。Everbiz は今後も学校・地域社会との関係を深め、地域資源を結び付け、知識、経済能力、生活能力、就業能力に対する適切な支援を提供していきます。

## 11. 連絡先

項目	情報
会社名	Everbiz Industrial Co., Ltd.
サステナビリティ担当	サステナブル発展委員会／サステナブル発展・リスク管理オフィス
住所	新北市汐止区大同路一段 [原文レポート記載住所]
電話	報告書に関する問い合わせ：+886-2-26472981 ext. 162。一般電話・FAX は原文レポート連絡先ページを参照。
ウェブサイト	<a href="http://www.everbiz.com.tw">www.everbiz.com.tw</a>
Email	<a href="mailto:sustainable@everbiz.com.tw">sustainable@everbiz.com.tw</a>

### 3. 重要課題分析と開示



参考画像 7

## 2022年 パフォーマンスハイライト



### 環境 E.

#### ■ 48.45MWhの節電を達成

48.45MWhの省エネルギーを実現し、CO<sub>2</sub>排出量を24.66トン削減しました。



### 社会 S.

#### ■ TTQS人材育成プログラム

125名を対象に訓練を実施し、77名が受訓、訓練比率は61.6%となりました。

#### ■ 管理職人材育成プログラム

111名の管理職訓練を実施し、累計171名が受訓、達成率は100%となりました。

#### ■ 地域連携活動 9件

社内資源を活用し、教育推進・人材育成・公益活動を展開しました。



### ガバナンス G.

#### ■ 売上・業績成長

2022年の年間売上成長率は15.52%、税引後純利益の成長率は8.8%でした。

#### ■ エネルギー効率の向上

2020年基準と比較して、エネルギー効率が15.81%向上しました。

#### ■ サプライヤー誠信規範を2件制定

『従業員誠信ガイドライン』および『サプライヤー行動規範』を制定しました。

## 1. イノベティブ・サービス

主要ステークホルダー：  
投資家、サプライヤー、顧客



お客様のニーズを最優先に考え、当社は市場動向および顧客要求に応える材料開発と設計ソリューションを継続的に提供しています。革新的な技術、スマート製造への継続的な投資、そして中核能力の強化を通じて、当社およびサプライヤー双方の能力向上に向けて業務プロセスを最適化しています。これにより、バリューチェーン全体でウィンウィンのパートナーシップを構築し、人と環境に配慮した製品・サービスを提供するとともに、製品ライフサイクル全体における環境負荷の低減に取り組んでいます。2022年には、5社の顧客が当社の専門設計サービスを利用し、総売上高の10.6%を占めました。

### 2022年の主な実績

**10.6%**

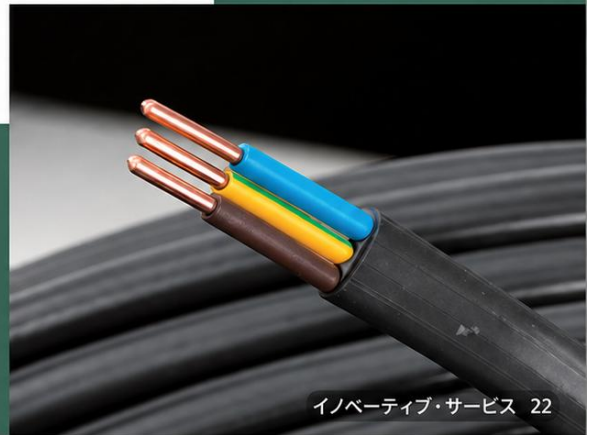
イノベティブ・サービス  
による売上高  
5社の顧客が当社の専門設計  
サービスを利用し、総売上高  
の10.6%を占めました。

**0件**

製品リコール件数  
2022年の製品リコールは  
ありませんでした。

**87.7点**

顧客満足度  
顧客満足度の平均スコアは  
87.7点でした。



イノベティブ・サービス 22

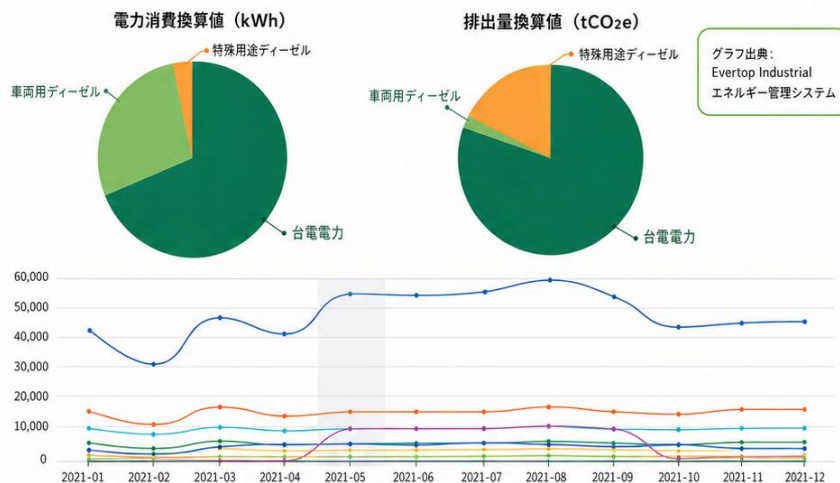
参考画像 9

## 1.1 革新的クラウドプラットフォーム： パートナーと共有するコミットメント

### 革新的なR&D

Evertop Industrialは、グローバルな気候リスクへの対応として、デジタル技術の効果を拡大し、顧客、サプライヤー、その他のバリューチェーン・パートナーとの協働を強化するため、革新的なクラウドプラットフォームの構築を積極的に進めています。当社はスマート製造および統合監視ソリューションに投資し、高出力・低エネルギーのケーブル生産プロセスを開発するとともに、電気自動車市場のニーズに応える多様な製品を設計しています。このスマートプラットフォームは当社のデジタル変革における第一歩であり、AIoTデータの収集と分析の基盤を築くものです。これにより、工程効率、製品品質管理、納期精度を向上させるとともに、オンライン協業を可能にし、移動に伴う炭素排出を削減し、BOM管理を最適化し、共同調達、倉庫管理、物流を支援します。目標は、2030年までに炭素排出を45%削減し、電力使用を15%削減する低炭素で持続可能なサプライチェーンを構築することです。

### クラウドプラットフォームを通じて 工場全体のエネルギー使用を追跡・分析



### 2022年の主な実績

**10.6%**

#### イノベティブ・サービス実績

5社に専門設計サービスを提供し、売上高の10.6%を占めました。

**0件**

#### 製品リコール 製品リコール件数

**87.7点**

#### 高い顧客満足度 顧客満足度スコア 87.7点を維持しました



イノベティブ・サービス

23

参考画像 10

## 1.2 未来を見据えたスマート製造の推進

急速な世界的技術進歩と消費者ニーズの変化を背景に、モバイル機器、ウェアラブル機器、IoT、AI、ディープラーニングなどの新興技術、さらに革新的なビジネスモデルが、エレクトロニクス産業を大きく変革しています。当社製品は、主要な電子製品、コンピュータ・通信機器、コンシューマーエレクトロニクス、バイオテクノロジー・医療分野、自動車産業など幅広い分野をカバーし、多様化、知能化、高精度化、小型化を特長としています。市場および環境の動向に対応するため、当社は未来を見据えたスマート製造戦略を推進しています。イノベーション、インテリジェント自動化、データ駆動型の意思決定を活用し、プロセスを最適化し、製品品質を向上させ、お客様のニーズに応える中核的で高品質な製品を提供してまいります。



参考画像 11